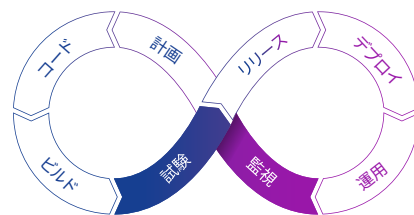


ADAS計測システム 管理ソフトウェア RALO



データ収集・処理のための モジュール式統合プラットフォーム

ETAS は、ソフトウェア定義ドビークル (SDV) の開発を支援します。
RALO の製品概要：



適用分野

- RALO は ADAS/AD システムの開発や妥当性確認のプロセスで、広帯域のデータを収集し処理するために使用します
- RALO があれば、複数のデータソース (GETK-Px など) と複数のデータシンク (データレコーダ、可視化ツールなど) を含む完全な ADAS/AD 計測ネットワークを、フレキシブルに構成できます
- RALO は車両、実験室、仮想環境などで使用できます

特徴

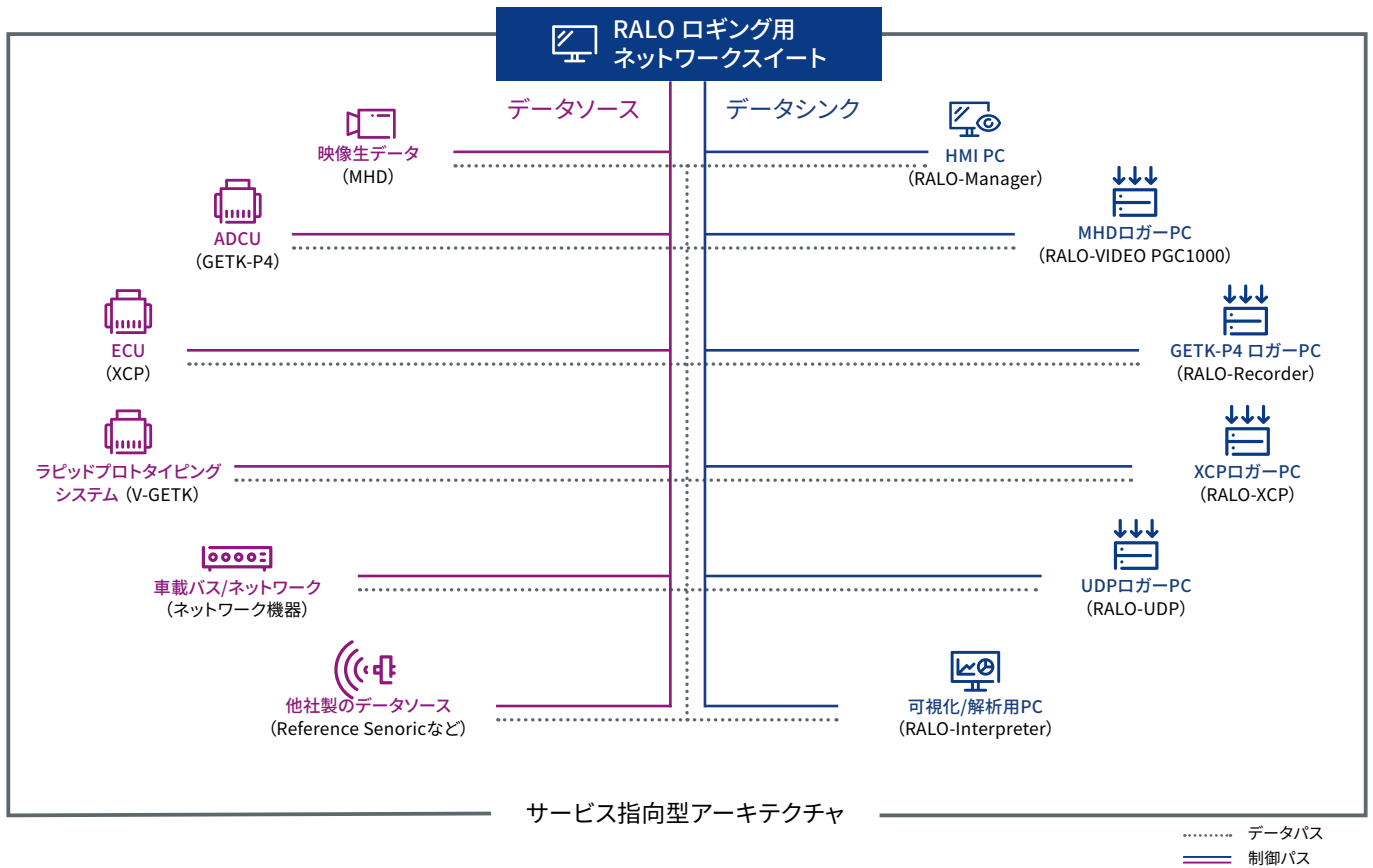
- RALO Manager で AD/DA 計測ネットワークの柔軟な構成、制御、モニタリングが行えます
- サービス指向型アーキテクチャ (SOA) により、ETAS の個々の計測技術コンポーネントを統合できます
- 「サービス検出」をサポート。ECU ソフトウェアから計測可能なデータを自動的に識別します
- 高性能データレコーダ (RALO Recorder)
- Windows、Linux に対応するモジュール式のアプローチ

メリット

- 包括的なモジュール式のソリューション手法により、幅広い適用分野でシステムの複雑さを軽減します
- 未来志向のスケラビリティと拡張性が投資の安全を保証します
- 適切に定義された API により、柔軟にツールチェーンへ統合できます
- テストドライブの所要時間と頻度を減らし、時間とコストを削減できます
- 透明性のある継続的なステータス監視が、高い信頼性を保証します

RALO – ロギング用ネットワークスイート

RALO があれば、分散した計測ネットワークの構成、制御、モニタリングが容易になり、あらゆるデータを効率よく記録し、可視化できるようになります



データソース:

データソースには GETK-P4 (ADAS/AD 制御ユニットのデータ)、MHD2.0 (生映像データの収集) などの ETAS 製計測デバイスを使用しますが、XCP などの標準規格のプロトコルや、バスおよびネットワークを介したデータもサポートしています。さらに、他社製デバイスや基準センサのデータソースも統合可能で、ラビッドプロトタイピングシステム (ROS など) からのデータも収集できます。

データシンク:

データシンクはデータソースと完璧に対をなしており、保存または処理するデータを高い信頼性で受信できます。モジュール式設計のデータシンクは、1 台または複数の PC に柔軟に分担させることができます。